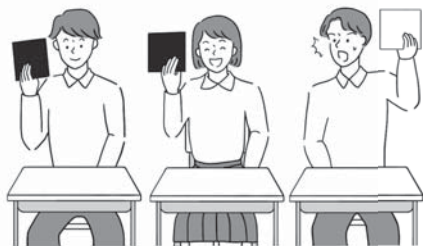


第3章

ほか 全員対抗



文字探し選手権

■準備物（×全員分）

教科書（1冊）→同じ教科のもの。

■方法

- ①各自、教科書と鉛筆を机の上に置きます。
- ②「今から言う文字を教科書から探します。探せたらそれに印をつけて、手を挙げます。探す文字は『春』です」

☆一番早く手を挙げた人の勝ちです。



■注意点など

- ・教科書ではなく、新聞などで行ってもいいでしょう。ただしその際は、紙面によって使われている文字に偏りがあるので、注意が必要です。
- ・1文字だけではなく、「春夏秋冬」というように、複数文字を同時に探させる方法もあります。
- ・早く見つけた生徒には、同じ漢字の「2個目、3個目」を探させてもいいでしょう。
- ・先生は事前に、生徒が探す漢字を教科書から選んでおきましょう。
- ・よくある漢字にして、「班で合計いくつ見つけられるかを競います」とすれば、班対抗のレクリエーションになります。

新聞3分割ゲーム

■準備物（×全員分）

新聞紙（1枚）

■方法

- ①準備物を全員に配ります。
- ②「新聞紙が3等分になるように、切れ込みを入れます。完全に切り離さないよう、3cmほど残して、新聞をつなげておきます」
- ③「新聞の両端を両手で持ちます。勢いよく左右に引いて、新聞を3分割できた人の成功です。では、自分のタイミングで始めましょう。スタート！」



☆3分割できた人の勝ちです。

■注意点など

- ・難しいチャレンジになります。事前に生徒に伝えて、練習してもいいと伝えておきましょう。
- ・見事に成功した生徒へは、コツなどをインタビューしましょう。
- ・お腹と新聞紙の距離を近づけ、両手をやや後ろ側にしながら、お腹を前に出して引くと、3枚に分割されやすくなります。
- ・班の代表だけにすれば、班対抗のレクリエーションになります。
- ・全員が終了した後、先生が一発で成功させると盛り上がります。

フライングディスク シュート

■準備物（×全員分）

不要になったA4用紙または
新聞紙4分の1ページ（1枚）

■方法

- ①準備物を全員に配ります。
- ②写真のように端を丸めて形を整え、フライングディスクをつくり、自分の名前を書かせます。
- ③黒板の下あたりにゴミ箱を置きます。
- ④順番に数人ずつ、教室の中央から、ゴミ箱をねらってシュートさせます。



☆フライングディスクがゴミ箱に入った人の勝ちになります。

■注意点など

- ・紙の質や大きさによって飛ぶ距離が変わるので、事前に先生自身で挑戦してみて調整すれば、より盛り上がります。
- ・フリスビーの要領で回転を加えて投げるとまっすぐに進み、飛ぶ距離も長くなります。
- ・教卓を黒板側の壁につけ、「教卓に載せることができたならチャレンジ成功」の方法にしてもいいでしょう。
- ・班で1つのフライングディスクをつくって、班の代表がシュートするようにすれば、班対抗のレクリエーションになります。